

# キバネクロバエ

ハエ目 イエバエ科

石川県カテゴリー 情報不足

*Mesembrina resplendens cillimaculata* Fan & Zhang

国カテゴリー なし

## 選定理由

北海道および本州の山地で採集されているが、個体数は少ない。

## 形態

体長は約12mmで、日本産のイエバエ科の中では最大の大きさである。前翅の基部は、黄褐色に色づいている。体は光沢をおびた黒色であるが、胸背前部中央と左右の肩瘤には白粉がついている。

## 国内分布

北海道、本州。

## 県内分布

白山市の尾添地区、白峰地区で採集されている。

## 生態

成虫は8～9月に溪流付近に多く見られ、クマの糞に特異的に産卵するようである。幼虫はクマの糞を食して成長するが、国外では牛糞などクマ以外の獣糞から発生している記録がある。

## 生息地の条件

生息地は、クマの生息域に準じるものと思われる。

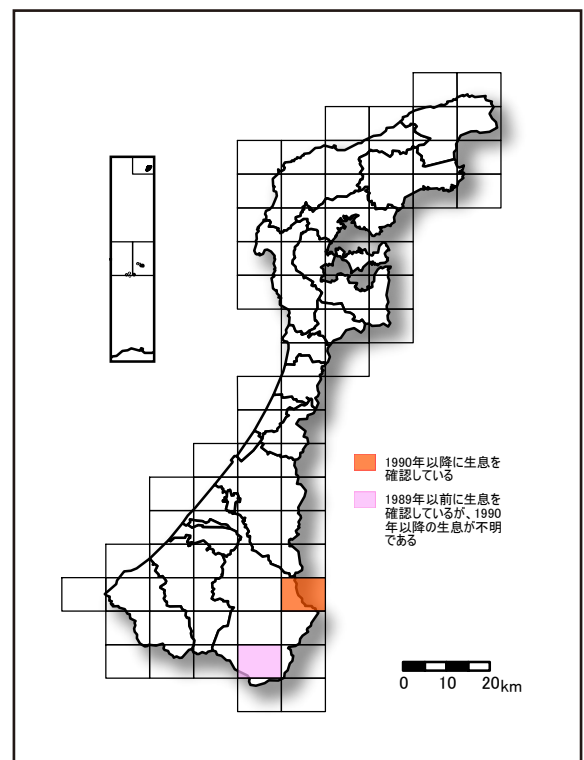
## 生存の危機

クマの生存が脅かされている状況ではないので、本種の生存に関しては問題ないと思われる。

## 参考文献

篠永 哲 2003. A Monograph of the Muscidae of Japan. 日本のイエバエ科. 東海大学出版会.

写真(図)はありません。



県内の分布